

令和5年度

社会福祉法人ユーアイ二十一

事業計画書

はじめに

令和元年12月に中国で最初の感染者が確認された新型コロナ感染症は今なお蔓延し続けており、福祉・医療を取り巻く環境は大きく変化しました。この3年にわたるコロナ禍において我々は多くの困難に直面しましたが、職員一人一人のたゆまぬ努力によってそれを乗り越えてきました。

このような大変な環境下ではありましたが、ユーアイ二十一は、4月に障害者グループホーム・マリオの事業を継承し、新しい分野に第一歩を踏み出すと共に、7月には相模原清菊園と合併し、職員数も約700名となりました。

ユーアイ二十一はこれからも未来に向かって歩を進めてまいります。それは、地域のニーズに応じた福祉サービスを提供し続ける使命があるからです。

ご利用者やそのご家族に安心してサービスを利用していただく為には、安定した法人運営が不可欠です。私たちを取り巻く状況は厳しく、コロナ禍だけでなく、社会保険料の増加や職員の不足、さらには2年後に控えている医療・介護の同時報酬改定等々、課題が山積しております。その中で安定した経営を継続する為に、少なくとも社会福祉法人の平均値と言われている利益率6%は必達目標であります。加えて、この厳しい環境の中で、制度内ビジネスのみで事業を継続していくことはいずれ限界を迎えると考えられることから、生き残りをかけ、収益ビジネスにも積極的に参画していきます。

目まぐるしく変化するこの時代において、常に新しい視点に立ち、柔軟に変化する姿勢が大切であると考え、令和5年度のスローガンを下記のように定めます。

多角的視点 ～ 視野を広く、柔軟に ～

令和5年4月1日
社会福祉法人ユーアイ二十一
理事長 石渡 庸介

目次

【はじめに】	2
【目次】	3
1. 【法人基本理念・基本方針】	4
2. 【社会福祉法人ユーアイ二十一事業一覧】	5
3. 【部門別・基本方針及び具体的取組み】	
1. 法人本部	6
2. 太陽の家(特養事業・短期入所事業・通所事業)	7
3. 太陽の家二番館(特養事業・短期入所事業)	8
4. 在宅グループ	9
・居宅介護支援事業・地域包括支援事業・小規模多機能型事業	
・訪問介護事業・有料老人ホーム事業	
・無料定額宿泊事業・障害福祉サービス事業	
5. 太陽の家座間(特養事業・短期入所事業・居宅介護支援事業)	10
6. 太陽の家横濱羽沢(特養事業・短期入所事業・通所事業)	11
7. 太陽の家相模原清菊園(特養事業・短期入所事業)	12
8. 歯科事業	
①太陽の家附属歯科診療所・太陽の家和田の里歯科診療所	13
②歯科診療所優会	14
4. 【職員研修 年間計画】	15

1. 《法人基本理念》

「太陽の家」は、ご利用者の方々の、
「安心」「温もり」「満足」を合言葉に施設運営を行ってまいります。

- ・ いつも笑顔の絶えない
- ・ 温かな心で、ふれあいに満ち、心安らぐ
- ・ 生きがいをサポートし
- ・ 尊厳を持って生活できる環境を守り
- ・ ご家族、地域との交流を基に、互いに手を携え共に歩む
- ・ 福祉諸制度、サービス情報提供等、身近な相談相手

《基本方針》

【令和5年度スローガン】

多角的視点 ～ 視野を広く、柔軟に ～

2.社会福祉法人ユーアイ二十一 事業所一覧

(1)第一種社会福祉事業

特別養護老人ホーム「太陽の家」	横須賀市西浦賀	定員111名
特別養護老人ホーム「太陽の家二番館」	横須賀市西浦賀	定員100名
特別養護老人ホーム「太陽の家座間」	座間市座間	定員100名
特別養護老人ホーム「太陽の家横濱羽沢」	横浜市神奈川区羽沢	定員110名
特別養護老人ホーム「太陽の家相模原清菊園」	相模原市南区上鶴間	定員 80名

(2)第二種社会福祉事業

太陽の家短期入所サービスセンター	横須賀市西浦賀	定員21名
太陽の家二番館短期入所サービスセンター	横須賀市西浦賀	定員10名
太陽の家座間	座間市座間	定員20名
太陽の家横濱羽沢	横浜市神奈川区羽沢	定員10名
太陽の家相模原清菊園	相模原市南区上鶴間	
太陽の家デイサービスセンター	横須賀市西浦賀	定員30名
太陽の家神大寺	横浜市神奈川区神大寺	定員15名
太陽の家安浦倶楽部	横須賀市安浦町	登録定員25名
太陽の家馬堀倶楽部	横須賀市馬堀町	登録定員18名
太陽の家逸見倶楽部	横須賀市東逸見町	登録定員18名
太陽の家浦賀 看護小規模多機能	横須賀市浦賀	登録定員25名
太陽の家浦賀 定期巡回随時対応型訪問介護看護	横須賀市浦賀	
太陽の家浦賀 無料低額宿泊施設	横須賀市浦賀	定員13名
太陽の家浦賀ケアステーション	横須賀市浦賀	

(3)公益事業

太陽の家居宅介護支援センター	横須賀市浦賀	
浦賀地域包括支援センター	横須賀市浦賀	
太陽の家附属歯科診療所	横須賀市鴨居	
歯科診療所優会	横浜市港北区錦が丘	
太陽の家公郷	横須賀市公郷	定員18名
太陽の家安浦	横須賀市安浦町	定員12名
太陽の家座間居宅介護支援センター	座間市座間	
太陽の家マリオ	横須賀市安浦町	定員5名
太陽の家和田の里歯科診療所	三浦市初声町	

令和5年度事業計画（法人本部）

行動指針	多角的視点 ～ 視野を広く、柔軟に ～														
	①	②	③	④	目標			具体的方策			日程(令和5年度)				
令和5年度事業方針	①	安定した財務基盤													
	②	多角的視点と実行力													
	③	可能性を引き出す人事													
	④	将来を見据えた運営													
	(重点実施事項:何を)	(どれだけ)	(どのように)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・事業計画・予算の管理 ・事業活動収支差額比率6%達成を目指した継続的サポート	予算達成状況を毎月速報ベースで確認し、課題を抽出する	・予実差異の精度向上を目指し、より正確な現状把握に努める ・予算達成上の課題を抽出し、分析を行う		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	新規事業・予算未達事業へのサポート	・経営改善策の提案 ・継続的な確認、支援		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	事業所間連携により相乗効果を生み出す	・適切な会議体を設置することで事業所間連携を促す ・会議体が本来の機能を果たしているかどうか定期的に確認し、必要に応じて改善を提案する		○			○			○			○		
・多角的視点を持ち、 業務の合理化と利便性の追求	合理化・IT化による作業効率の上昇	・ミスをなくし、作業効率を上げるための事務の自動化 ・チャットボット等において職員自ら必要な情報を得られる環境の構築 ・ペーパーレス化の推進、継続的なモニタリング		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	研修事業実施に向けた体制作り	・研修実施に向けた各種届出 ・教員資格取得支援 ・研修開催案内、周知		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人事考課制度・賞与制度の見直しと実施	・人事考課規程の作成・面談の実施手順の見直し(目標作成・フィードバック等)明示 ・考課者、被考課者を対象とした研修の実施		○	○				○	○			○	○	
・効果的な採用活動と 入職後の公平公正な評価制度の追求	キャリアパス制度の再構築	・求める職員像と基準・条件の明確化と周知 ・職能要件書の作成				○	○						○	○	
	スケールメリットを活かした効果的な採用活動	・新卒者用活動の継続・エリア担当者との連携強化		○	○	○	○			○			○	○	○
・2024年度医療・介護報酬改定に向けた対応	情報の収集・現状の把握	・厚労省の審議会進捗確認・研修への参加		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		・加算取得状況、資格取得状況のモニタリング		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	対応策の検討・実施	・取得可能な加算の確認および取得促進		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		・LIFE習熟度アップの為の支援 ・加算取得に必要な資格取得に係る情報提供		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和5年度事業計画（太陽の家）

行動指針	多角的視点 ～ 視野を広く、柔軟に ～																		
	①	②	③	④	具体的方策				日程(令和5年度)										
令和5年度事業方針	① 新たな取り組みによる事業の安定を目指す																		
	② 利用者満足度向上を目指し新たな取り組みを行う																		
	③ 新たな介護の実践を目指し業務の見直しを考える																		
	④ 地域にとって必要とされる施設作りを行う																		
目標	（重点実施事項:何を）			（どれだけ）			（どのように）			日程(令和5年度)									
							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①安定した事業運営のための取り組み	年間稼働率目標 (特養 98.2% 短期 94% 通所 87%)	共通)新規利用者及び入所申込者獲得の為、営業活動を実施する。(事業所回り・FAXでの情報送信等)(毎月)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特養 目標上位待機者常時10名 入居までの目標7日以内	共通)感染症発生時でも、ゾーニング等工夫で、事業が継続できる環境を作っていく。(常時)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	短期(年間) ・新規利用者獲得80件以上 ・ロングショート獲得6件以上 ・ショートから本入居10件以上 ・空床利用6件以上	共通)週1回、事業所内で情報の交換を実施し、利用者の状況変化があった際でも、継続して支援を行っていく。(状態の低下による特養入所・家族の都合によるロングSS受け入れ等)。また各事業の課題についても共有し、協力しながら、左記実現に向け取り組む。(週1回)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	通所(年間) ・新規獲得利用者40件以上	特養)現入居者の状況の把握及び予測、入居申し込み→入居までの一連の流れの振り返りを行い見直しを実施する。(毎月)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	新規加算算定及び現状の加算算定数の向上 (特養) 褥瘡マネジメント加算の新規算定(7月より)、個別機能訓練加算算定75名以上 (通所) 科学的介護推進加算の算定(4月より)	加算算定ができる体制を構築する。 (事業所内での情報共有、体制を構築するための検討、改善、評価)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	支出の削減	ムリ・ムダを無くすことを継続的に検討し、実行と評価を繰り返し実施していく。 (ペーパーレスへの取り組み、節電節水への取り組み等)(毎月)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
②サービスの質向上を図り、満足度を高める	満足度95%以上の実現	レクリエーションや行事の充実(頻度や新たな行事の計画、季節感を感じることが出来る食のイベント等)(毎月・随時)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		満足度調査の実施 特養年1回(10月・11月) 短期通所年2回(4月・5月、10月・11月)			○	○						○	○						
	新たな機能、取り組みを実施し、満足度を高める	食事提供についての工夫を行い、食事への満足度を高められるように努めていく。 (毎月評価・見直し)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③個々の職員の人材育成、働き方改革の推進	職員の成長、離職の防止	働きやすさ、やりがい、向上心が持てるように定期的な面談と振り返りを実施する。 特養(7月、11月、3月)短期・通所(5月、10月、2月)				○		○				○	○				○	○	
	部署や個々の職員に合わせた研修や受講の機会を設ける	研修受講の案内、参加を促す。(随時) ・認知症実践者・認知症介護基礎 ・介護支援専門員の関わる研修 ・感染症にかかわる研修 ・喀痰吸引研修等の医療に関わる研修 等			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	残業時間の減少	委員会開催頻度や業務の見直し及び振り返りを実施する。また部署内会議で負担の偏りについて改善を行っていく。業務効率の上がるICT機器やアプリケーションなどの導入検討を行う。(音声データ入力アプリ、インカム等)(6月、9月、12月、3月)						○				○			○				
④地域への関り		MTT、認知症カフェ、勉強会、地域清掃などへの職員の派遣。(毎月)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	毎月地域の場に出る活動を行う。 地域にとって必要とされる施設を目指す。 地域の方々と顔の見える関係づくりを行う。	第三者委員会の回数を増やし、その中でも地域の情報や地域活動の事を確認し、交流できる事を模索していく。(4月、7月、10月、1月)			○			○				○				○			
		包括支援センターの教室等で太陽の家の機能を知ってもらえる場があれば積極的に出向いて関係を構築していく。(随時)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和5年度事業計画（太陽の家二番館）

行動指針	多角的視点 ～視野を広く、柔軟に～																		
	①	②	③	④	具体的方策			日程(令和5年度)											
令和5年度事業方針	安定した稼働の維持	ご利用者・ご家族の満足度を上げる	チームビルディング	地域の安心を支える存在になる	目標 (重点実施事項:何を)	(どれだけ)	(どのように)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
感染症対策を講じ安定した稼働の維持を図る 目標稼働 97.4%(特養98.8% 短期96%)	退居から入居の空日数8日		申込者数の確保と上位待機者8名			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特養空床時の積極的な利用(毎月50%)		特養事業と短期事業の連携(入院期間・入退の共有)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	新規、リピートの獲得(毎月)		居宅事業所・病院等への営業・空室情報の発信			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	感染症予防(毎月)		入居者・利用者・職員の体調管理 蔓延防止の為の早期対応			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
個別性のあるケアの実施	ニーズの把握(4回/年)		茶話会・行事の企画(ユニット茶話会・喫茶)			○			○										○
	利用者の楽しみ(計画実施)		年間計画に沿ったレクリエーションの実施			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	介護の振り返り(1回/年)		満足度アンケートの実施										○						
	サービスの質の向上の為(4回/年)		第三者委員会の開催			○			○									○	
専門性の向上 働き甲斐がある働きやすい職場をつくる	アセスメント力向上の為(4回/年)		全体研修				○			○					○				○
	職員の精神的・身体的負担を軽減(随時)		ICT導入により、業務の効率化を図り、職員の負担軽減また、教育体制を整え、人材育成の強化にて生産性を上げる。無駄な時間を削減し、適切なホスピタリティを維持する。			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	キャリアに応じた知識・技術の向上を図る為(随時)		外部研修 職員の目標に沿った研修への参加。意欲向上の為、本人の希望研修への参加。			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	職員の知識・技術の向上を図る為(毎月)		各ユニット・各フロア会議時、現状の介護力・計画に沿った研修の実施。			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域のニーズに応える	地域に開かれた施設(随時)		ボランティアや実習生の受け入れ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	貢献活動を通して地域との連携の強化を図る(毎月)		地域清掃・ぬくもりカフェ・二番館主体ニーズに答える活動			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	広報活動を通して地域に二番館を知ってもらう(随時)		SNS・YouTube等での情報の発信			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和5年度事業計画（在宅グループ部）

行動指針	多角的視点 ～視野を広く、柔軟に～																							
	①	②	③	④																				
令和5年度事業方針	在宅グループ部全体での黒字化と全ての事業所において予算必達のための施策の確実な実施																							
	量ではなく質で満足を得られるサービスの実践																							
職員のケアと成長できる仕組みの構築																								
地域と関わる機会、地域に発信する機会、同業他社と連携する機会の増加(地域に頼られる事業所を目指す)																								
目標		具体的方策										日程(令和5年度)												
(重点実施事項:何を)		(どれだけ)		(どのように)								4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
在宅グループ部全体での黒字化の施策実施	上期中の単月黒字達成と下期累計での黒字化			①内部包括・居宅との空き情報の常時共有(1/週 業績改善会議)(毎月) ②営業活動:病院、老健、外部包括・居宅とのパイプ作り(毎月) ③過剰サービスの見直し(4月～11月) ④公郷グループホームへのスムーズな移行(赤字最小化)(7月～11月)								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	【包括・居宅】 ・小規模、有料への紹介数増(1人年間5件以上) ・【居宅】内部比率10%向上(デイサービス・訪問介護)、5%向上(短期入所) ・【包括】内部居宅への紹介件数10%向上			・月次報告書作成により実績把握 ・業績改善会議における情報共有と進捗確認(1/週)								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	赤字事業所における緊急対応以外の残業ゼロ(トータルで50%以上削減)			業務効率化(現在の業務内容のゼロベースからの見直し・標準作業書作成)								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	不採算事業見直しと新規事業検討(小規模、障がいグループホーム、等)			・他サービス転換のシミュレーション ・公募等情報収集								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
量ではなく質で満足を得られるサービスの実践	不適切な対応や対応が遅いことによる新規のキャンセル0件			①ニーズにそのまま応えられないケースに対して、納得性の高い代替案を提案できるようなサービスのパターンを作成、共有する(4月～9月) ②新規依頼に常に即対応できるよう、複数の職員が同レベルの対応をできる体制を作る(4月～6月)								○	○	○	○	○	○							
	困難ケース(医療対応及び重度認知症利用者)への対応力向上による対象者倍増			・受入れ前、受入れ後も適宜勉強会を開催し、適切な対応の共有を行い、困難ケースへの抵抗感を軽減する								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アンケート実施し満足している割合90%以上(1回/年)			回答項目の『分からない』や『不明』を除いた回答の『満足・やや満足』を占める割合にて把握													○							
従業員満足度(ES)向上の取組(職員ケアと成長できる仕組みの構築)の実施	職員ケア(1回/月 面談)			直属上司が面談(目標進捗、問題点、改善点等確認)								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	残業30%削減			タイムマネジメント(業務分析と改善策実施)による業務効率化と過剰サービスの削減								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	評価と連動する目標設定と管理(2回/年)			・事業計画と連動した目標設定(個人目標の達成=事業所目標の達成=事業計画達成) ・測定可能な目標設定(評価の納得性向上) ・強みの強化と弱みの克服も設定し、達成が成長に繋がる仕組みにする								○					○	○				○	○	
地域と関わる機会、地域に発信する機会、同業他社と連携する機会の増加	【包括】 ①地域ケア個別会議の開催(随時) ②体操教室実施(3回/月) ③(包括を介さない)地域ネットワークづくり(2回/年) ④新任民生委員の勉強会開催(1回/年)			①困難ケースを中心にケアマネ、医療機関、地域事業所と実施 ②地域に専門職講師の派遣(毎月) ③各職種が集まれる機会を作る(7月、9月) ④町内会、民生委員と実施(3月)								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	【居宅】 ①包括研修や会議参加(1回/2カ月) ②他事業所CMとの交流(1回/年)			①地域包括や医療機関主催の研修や連携会議に参加して地域関係機関との連携強化(5月より隔月) ②他事業所との事例検討会の実施により多角的視点でのケアマネジメントの実践(7月、1月)								○			○		○					○		○
	【小規模】 ①地域課題や行事に協力(1回/2カ月) ②回覧版・掲示板に活動チラシを掲載(四半期に1回)			①運営推進会議参加の地域代表者に確認(5月より隔月) ②自治会等に依頼(4月、7月、10月、1月)								○	○		○		○	○				○		○

令和5年度事業計画（太陽の家座間）

行動指針	多角的視点 ～ 視野を広く、柔軟に ～														
	①	稼働の安定・加算の取得と維持	②	24シートの充実・健康管理の強化・レク活動の強化	③	感染対策の強化・5S活動の推進・委員会の強化	④	地域住民が在宅生活を維持できるような支援の実施	日程(令和5年度)						
令和5年度事業方針	目標 (重点実施事項:何を)	具体的方策 (どれだけ)	具体的方策 (どのように)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
稼働の安定 加算の取得と維持	特養短期平均稼働率98% (特養平均介護度:4.0・短期平均介護度3.0の維持)	空床利用と緊急ショートを受け入れ、待機者随時10名の確保、協力病院との密な連携・営業活動の強化		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	科学的介護推進体制加算(必須)・自立支援加算(必須) 褥瘡加算・看護体制加算等の加算算定および専門職の人員確保	算定要件を満たす人員配置や書類、PDCAサイクルを確立させる		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	マネジメントを強化する	報連相を重視したPDCAサイクルを確立させる		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24シートの充実 レク活動の強化 健康管理の強化	一人ひとりにあった支援の実施(個別ケアの推進)	ケアプランに連動した24シートの活用と、定期カンファレンスや担当者会議の開催		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	家族への情報提供の場を前年度より増やす	年間行事スケジュールを作成し、行事の開催・定期的な家族への手紙やSNSを活用し情報発信を進める		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	入院ベッドを前年度より減らす	多職種と往診医との密な連携を実施し、早期治療を開始する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
感染対策の強化 5S活動の推進 委員会の強化	感染に対する知識・技能を身につけ、ご利用者・職員を守るような環境を作る	定期テストの開催・技術研修の開催		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	各種マニュアルの見直しと更新を行い業務の効率化を図る	マニュアル整備と5S活動の推進		○	○	○	○	○	○						
	委員会・研修を強化し、方針の浸透や共有を強化する	職員面談毎月実施(非常勤年3回以上)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域住民が在宅生活を維持できるような支援の実施	地域住民が参加できる行事を年2回企画・実施する	居宅主催で行事計画・開催							○						○
	居宅担当件数を最大にする	病院連携室や包括との密な連携・市の介護教室等の協力参加		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	施設主体で地域貢献を進める	自治会への参加を強化、美化清掃の実施		○		○				○			○		

令和5年度事業計画（太陽の家横濱羽沢）

行動指針	多角的視点 ～視野を広く、柔軟に～																
	①	安定した経営と選ばれる施設を目指します															
令和5年度事業方針	②	ご入居(利用)者やご家族の思いを実現する為、根拠ある個別ケアを実践します															
	③	職員のやりがいの為に評価制度を明確にし、キャリアアップと長く働ける職場環境を目指します															
	④	地域との連携体制を強化します															
	目標	具体的方策						日程(令和5年度)									
(重点実施事項:何を)	(どれだけ)	(どのように)				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
安定した経営と選ばれる施設を目指します	特短 平均稼働率98.5%以上、平均介護度特養4.3、短期3.0以上維持、デイ稼働60%	申請者の人数、稼働率を毎月確認、翌月の状況を把握し手を打つ				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	デイ新規契約者数 目標20人獲得、ケアマネの見学20人誘致	居宅ケアマネ40拠点への訪問 新神大寺の売りの早期周知				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	事務費の削減、事業費は破損品を減らす対策を講じ、ペーパーレス化を図る	紙のデータ化、オムツ、物品、事務費、点検・取説マニュアルの整備				○	○	○	○	○	○						
	加算の算定、各種助成金の活用を行い、収益の向上を図る	看護体制加算Ⅱ、横浜市医療助成の加算要件維持、新規栄養マネジメント関係の算定				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ご入居(利用)者やご家族の思いを実現する為、根拠ある個別ケアを実践します	本人の思いや望む暮らしの実現の根拠とするため、24Sを多職種で協働連携する	24S、計画書を多職種が把握し、ケアの質の向上に繋げる(口腔ケア)				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	各種イベント(ユニット・フロア単位、個別企画)をユニット費の活用で楽しみのある暮らしを実現	イベント回数、ユニット費の運用を毎月確認し活用状況をチェック				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	家族が施設での暮らしを把握しやすくする為、感染症対策を充足させた家族面会やイベントの再開。	ソレイユの発行、面会の促進と家族への伝達方法の省力化(メール等)									○						
	デイのメニューの拡充(機能訓練士、歯科衛生士、レク等)	横濱羽沢から専門スタッフの定期派遣				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員のやりがいの為に評価制度を明確にし、キャリアアップと長く働ける職場環境を目指します	実習施設の役割を理解し最大限に活用し新規採用や人材育成に繋げる	マニュアルの整備、初任者研修、実務者研修研修参加者				○											
	モチベーションの維持向上、ストレスの軽減の為に面談等のフォローアップ体制の強化	定期面談と課題進捗管理				○			○			○			○		
	次世代のリーダーの育成、新入職員の教育の為に施設内研修体系の強化	研修マニュアル、講師の育成、各研修の効果測定、法定研修の実施と目標管理				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	職員の介護技術のレベルアップと一体感の醸成	横濱羽沢と神大寺の職員定期交流実施										○					
地域との連携体制を強化します	施設設備の地域への貸し出し、イベント参画、受入、地域と協働した企画の実施	参加回数、利用回数、地域活動の参加状況の確認				○	○	○	○	○	○						
	災害時における地域との連携体制の構築	防災協定、BCPの策定、消防団加入等、地域防災訓練への参加										○					
	WEBセミナー開催、SNSでのPR活動による研修受講者と職員の確保、入居の集客に繋げる	SNSの更新、その他広報活動の実績確認										○					

令和5年度事業計画（太陽の家相模原清菊園）

行動指針	多角的視点 ～視野を広く、柔軟に～																								
	①	②	③	④	目標			具体的方策			日程(令和5年度)														
令和5年度事業方針	① 経常利益確保				(重点実施事項:何を)			(どれだけ)			(どのように)			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	② ケアの追求と満足度の向上を図る																								
	③ 働く満足度を上げ、離職率を低下させる																								
	④ 地域交流の基盤作りを行う																								
経常利益確保	常に上位待機者3名を維持する			営業の強化と、短期利用者からの特養待機者への誘導を増やす																					
	新たな加算を算定する(口腔衛生管理加算の算定、経口維持加算の算定者の増加)			協力医療機関との連携強化																					
	支出を見直す			4半期ごとに事業費事務費の予算執行を把握し、対策をたてる																					
個別ケアの追求と満足度の向上を図る	24時間シートの年2回更新			ケアプランの短期、長期目標を更新して個別ケアの実現を目指す																					
	入居者家族宅から入居者がオンライン面会できるようにする			WIFI環境の整備をする																					
	専門業務に専念できる環境整備			兼務をなくす																					
働く満足度を上げ、離職率の低下させる	事業所間研修を充実させる			事業所間研修を充実させる																					
	業務内容の平準化・ICTの導入			業務内容の平準化・ICTの導入																					
	地元の店とタイアップして地域の方の交流の場の提供			移動パン販売を月2回実施																					
地域交流の基盤作りを行う	コロナ禍で中断、感染対策に配慮しながら再開			なかよし食堂を年2回実施																					
	持続可能な開発目標を推進する			施設内にさがみはらSDGs推進自動販売機の設置																					

令和5年度事業計画（附属歯科診療所・和田の里診療所）

行動指針	多角的視点 ～視野を広く、柔軟に～																		
	令和5年度事業方針	①	②	③	④	具体的方策			日程(令和5年度)										
	目標 (重点実施事項:何を)	(どれだけ)			(どのように)			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来患者を増やし、経営の安定・改善に努める	両診療所との共同仕入れ等でのコスト削減	附属歯科、和田の里との密な連絡相談			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	IT活用による管理負担の軽減	効率化による診療の充実			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	効率化への取り組みを進める				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
利用者の獲得	介護施設の附属歯科として、より口腔ケア・食生活の充実を図る	口腔ケアを通じ、食べる楽しみを永續させ、ADLを一定水準に保つ役割を担う			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ホームページ・パンフレット等による情報発信	法人内のホームページやフェイスブックの利用と広報誌の作成			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
機械・器具の刷新を図り働きやすい職場づくりをし、会議や面談をとおり、職員の意見を聴取し共に運営していく意識を持つ	シフトの安定化	診療所運営のための職員確保			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	両診療所の交流	会議や配置転換等を生かし、業務の平準化			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	新しい技術・知識の習得	講習会やゼミの参加			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	設備・備品の適正管理	備品台帳、運営のマニュアル化			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
地域に必要とされる診療所づくり	診療所の運営方針等を周知していく	患者の紹介制度への取り組み			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		附属歯科1階部分での口腔・食支援相談			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		口腔ケアグッズの販売			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

令和5年度事業計画（歯科診療所優会）

行動指針	多角的視点 ～ 視野を広く、柔軟に ～																						
	①	②	③	④																			
令和5年度事業方針	①	収支を安定させる																					
	②	新患及びリピーターを増やす																					
	③	摂食嚥下についての専門知識を向上させる																					
	④	地域の口腔衛生の知識向上に貢献する																					
目標		具体的方策										日程(令和5年度)											
(重点実施事項:何を)		(どれだけ)					(どのように)					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収支を安定させる	月平均売上300万円を目指す	保険点数に対しての知識を深める(勉強会や保険医協会からの情報取得)					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	新規患者数月5名	口コミ営業を促進する為、現患者への紹介促し施策を実施					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	自費金額 月平均10万円を維持する	毎月ではなく、年間通して120万円の自費診療を達成する為、患者様へ選択肢を提供する場を増やす					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新患及びリピーターを増やす	新規患者数を月平均5名増やす	販促用のチラシの充実を図る					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	再診を促す手紙の発行と実際の再診率の向上	全患者に再診を促す手紙を発行し、再診率を前年度より向上させる					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	診療所内の環境整備	来やすい雰囲気づくりのため、待合室の充実を図る					○																
摂食嚥下についての専門知識を向上させる	摂食嚥下についての知識を増やす	一般社団法人日本摂食嚥下リハビリテーション学会の会員になり専門知識の習得に務める					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	安全に食事を食べられるようお手伝いをする	VE(経鼻内視鏡検査)の導入を進め嚥下のリスクを可視化をする															○						
	業務の効率化を図る	職員の時間外勤務を減らす					○																
地域の口腔衛生の知識向上に貢献する	エリア内施設の職員の知識向上に資する	エリア内施設の職員向け口腔ケア講習会の充実を図る					○				○								○				
	横浜含めエリア内に所在する法人内事業所の地域向けの講習会を開催する	診療所及び拠点に配置している歯科衛生士が地域に宣伝する						○							○						○		
	現在行っていない、横浜地域の医療(歯科)の過疎地域へ講習会又は診療をアプローチする	地域包括やケアプラザへ講習会の案内を行う						○							○						○		

4. 職員研修 年間計画

社会福祉法人ユーアイ二十一の研修目的として、研修体制がある（安心）、自分が受けた研修がある（温もり）、なりたい自分になれる（自己実現）を掲げ実施していきます。令和5年度の研修は、年間スローガン「多角的視点～視野を広く、柔軟に～」を踏まえ、各職種において培ってきた知識・技術を向上させ、時代にあった新たな発想や柔軟な対応が出来る職員を育成。

（1）階層別研修

「次世代を育てる」「職位に必要な知識・技術・態度を身につける」、樹の幹を作るための研修。しっかりした幹があってこそ、専門研修や部門別研修が活かされるとの考えのもと実施。

①新規採用者研修

中途採用者を対象とした研修。3カ月に1回（4月・7月・10月・1月）ウィリング横浜にて開催。対面での研修（半日）と動画視聴研修とする。

目的は、ユーアイ二十一に入職してからより成長していくため、(1)ユーアイ二十一が大事にしていること・理念の理解(2)法人の概要と組織(3)働くうえで大切にしていることの3点について理解すること。

<研修項目>

法人の理念	法人組織と概要	法人の取り組み	個人情報・リテラシー
人材育成・人事考課・研修	人事労務・諸届	ユーアイ二十一のケアの考え方～倫理～	労働安全衛生
認知症の基礎知識	※身体拘束	※虐待防止	BCP
感染症予防	※ハラスメント	※ターミナルケアについて	事故防止 ～リスクマネジメント～

※動画視聴研修

②新人研修

新卒職員を対象とした研修。4月に入社後、研修を実施。目的は(1)社会人、組織人としての自覚を持つ(2)仕事に必要な基本的知識・技術・態度を習得する(3)法人で働く職員やご利用者とコミュニケーションがとれるの3点。

③パフォーマー研修

一般職員対象。年間を通して実施。「専門職を作る」+「葉を茂らせ」「身をつける」ための研修。科目選択式研修。今年度は、事業所共通項目の必修1項目、事業所別選択項目の必修3項目。

太陽の家

【必須】 認知症	【選択】 法令遵守	【選択】 障害	【選択】 ターミナルケア
-------------	--------------	------------	-----------------

太陽の家二番館

【必須】 接遇・マナー	【選択】 アセスメント	【選択】 認知症	【選択】 PCスキル (すぐろく・Excel等)
----------------	----------------	-------------	--------------------------------

太陽の家座間

【必須】 24Hシートの活用法	【必須】 感染症・ゾーニング中の 対応方法	【必須】 看取りについて	【必須】 排泄研修
--------------------	-----------------------------	-----------------	--------------

太陽の家横濱羽沢

【必須】 口腔ケア 摂食・嚥下	【必須】 高齢者の栄養管理	【必須】 個別ケア（ケアプラン・ 24シート・自立支援）	【必須】 看取り
-----------------------	------------------	------------------------------------	-------------

太陽の家浦賀・小規模・有料

【必須】 情報収集と アセスメント	【必須】 ハラスメント	【必須】 接遇について	【必須】 医療
-------------------------	----------------	----------------	------------

④リーダー研修

リーダー対象。法人共通項目を必修4項目。実践に移せるように、実務で活かすことを目的とする。

<研修項目>

役職者の責任①	役職者の責任②	管理の責務・目標達成	連携
---------	---------	------------	----

⑤主任研修

主任対象。外部講師による1日研修を開催。組織の強みを理解し重点におく事を目的とする。

<研修項目>

組織の強み

⑥課長研修

課長対象。外部講師による1日研修を開催。視野を広くもち、他部署との協調性・対応力の強化し、より事業を運営する力を養うことを目的とする。

<研修項目>

福祉と経営	他部署との協調性
-------	----------

⑦リーダー・主任育成（ユアアイゼミ）

リーダー・主任候補対象。外部講師による1日研修を年4回開催。毎回、振り返りを実施しフォローアップ研修の開催。次世代の事業を担える人材の育成を目的とする。

(2) 全体研修・コンプライアンス研修

介護保険事業を行う上での必要研修。各事業所の委員会の主導で実施。各事業所で年間を通して実施。

<研修項目>

	訪問 介護	居宅 介護 支援	通所 介護	小規模 多機能	特養・ 短期
認知症及び認知症ケアに関する研修	○	○	○	○	○
プライバシーの保護の取り組みに関する研修	○	○	○	○	○
接遇に関する研修	○				
倫理及び法令遵守に関する研修	○	○	○	○	○
事故発生又は再発防止に関する研修（福祉用具含む）	○		○	○	○
緊急時の対応に関する研修（福祉用具含む）	○		○	○	○
感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修	○	○	○	○	○
身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修			○	○	○
非常災害時の対応に関する研修	○	○	○	○	○
介護予防及び要介護度進行予防に関する研修			○		
医療に関する教育、研修					○
ターミナルケアに関する研修					○
精神的ケアに関する研修					○
高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修	○	○	○	○	○